

平成20年10月27日

各 位

上場会社名 株式会社 GSIクレオス
 代表者 代表取締役社長 加藤 元信
 (コード番号 8101)
 問合せ先責任者 取締役経営企画部長 松下 康彦
 (TEL 03-5211-1802)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	53,000	550	250	180	2.79
今回発表予想(B)	55,600	1,050	1,170	240	3.73
増減額(B-A)	2,600	500	920	60	――
増減率(%)	4.9	90.9	368.0	33.3	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	58,369	652	368	△158	△2.45

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	46,000	320	200	180	2.79
今回発表予想(B)	45,600	420	370	210	3.26
増減額(B-A)	△400	100	170	30	――
増減率(%)	△0.9	31.3	85.0	16.7	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	50,320	294	207	△182	△2.83

修正の理由

当第2四半期累計期間においては、企画提案型の婦人ファンデーションの扱いが伸長したことや米国向けを中心とした化学製品の売上が好調に推移したことに加え、不採算事業からの撤退により利益率が改善したことから営業利益および経常利益が前回予想に比べ増益となる見込みとなりましたので、業績予想数値を修正いたします。

なお、本日「特別損失(貸倒引当金および投資有価証券評価損)発生に関するお知らせ」で公表したとおり、債権回収不能見込額および保有株式の評価損、合計405百万円を特別損失として計上しますが、四半期純利益は前回予想に比べ増益となる見込みです。

通期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の業績予想につきましては、平成21年3月期第2四半期決算発表時(平成20年11月14日予定)にお知らせいたします。

(注)上記の予想は現時点において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上